第１回岡崎市都市計画マスタープラン住民説明会（六ツ美地区）　議事要旨

日時	令和元年 11 月３日(日)14:00～15:00
場所	地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里　第４活動室
参加者	13 名

1　開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2　あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3　岡崎市都市計画マスタープラン（全体構想まで）に関する説明

4　質疑応答

質問者１	・岡崎市の目指す姿が見えない。市を活性化するために、人口を増やすのか、人口は減少していくが、市民の満足度を高めるのか。
岡崎市	・全国的な傾向と同様に人口が減少していくことは受け止めた上で、単純に減少とならないように、人口を増やす施策を進め、減少する数を抑制していく。 ・西三河に拠点にふさわしいまちを目指し、自然・歴史・文化を守り、生かしながら、新たな施策も進めることで、岡崎市に住みたいと思われるようなまちづくりを目指す。
質問者２	・主要課題５で防災の記載があるが、各地で大きな水害等が起きている。岡崎で河川氾濫が起こると、六ツ美は危険性が高い地域である。岡崎市で浸水の危険性が高い地域は人口も多く住んでいる。主要課題だけでなく、もっと理念等の前段で防災の記載が必要ではないか。
岡崎市	・水害の危険性は認識している。市でも水害対応ガイドマップを作成・公表している。近年の水害は、ハードだけでは対応が難しくなってきており、市民とともにソフト対策も十分に検討していく必要があると認識している。
質問者３	・理念などは示されているが、岡崎市が目標としている他都市はあるのか。
岡崎市	・様々な特徴を持ち、まちづくりを進めている他都市の良い所を参考にしながら、良いまちづくりができればと考えている。
質問者４	・六ツ美地区では、市街化区域と市街化調整区域があり、近年急激に開発が進んでいるところでは、道路・上下水道・公園などの整備は追いついているのか。
岡崎市	・まちを整備していく際は、土地区画整理事業では、基盤は区画整理事業の基準で整っていく。開発許可で個別に行われる場合は、開発基準に従って整備されているため、基本的には必要な基盤は整う。ただし、小規模なものだと、十分な基盤が整備されていない可能性もある。

質問者４	・やむを得ないということか。
岡崎市	・広い範囲の整備だと、基盤が整うが、個別開発だと宅地と農地が混在する。農地が混在すると、農業基盤も廃止するわけにはいかず、生活するための基盤整備という視点で言うと、不十分となる可能性があるが、制度のなかで行われることである。
質問者１	・都市像５の目標１に「市街地の形成」とあるが、農地や林地は安全な市街地の形成の対象とはならなのか。
岡崎市	・農地・林地は別途個別計画で定めていくことになる。本計画においては、農地・林地については、保全という方向性を出すことになる。
質問者１	・都市像や目標、基本方針が示されているが、その実現はどのように評価するのか。
岡崎市	・本計画の第４章で評価の方法を検討する。
質問者１	・防災の対策をするモデル地区を作るのか。
岡崎市	・平成 26 年度に市街地の危険度について評価した。燃えやすく、避難しにくい地区ということで公表済みである。そのため、本計画のなかでモデル地区を検討するものではない。
質問者５	・１月の第２回説明会では具体的な話になると思うが、六ツ美地区についてどのくらいの雨量で、どの程度浸水するのかを示してほしい。
岡崎市	・浸水想定区域については、国や県の想定を示しているため、これを具体的な地域で詳細に示すことはできない。

5　閉会

以上